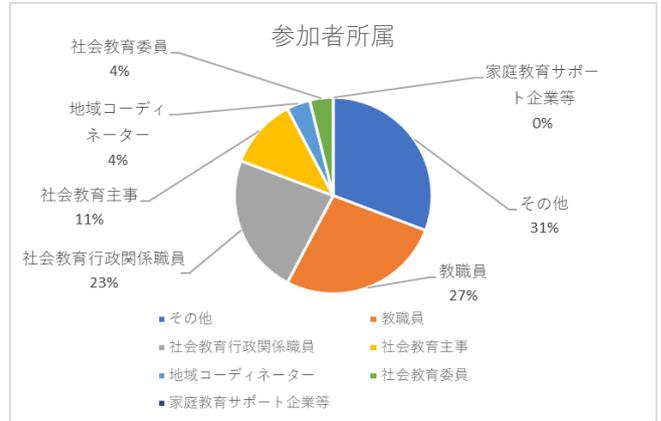


# 「社会教育としての家庭教育支援～学び合い、育ち合う仲間づくりを目指して～」

## 事業の内容

- 1 日時 令和7年9月25日（木）  
13:30～16:25
- 2 場所 Web会議システム zoom
- 3 参加者 33名



## I プログラム

13:15	13:30	13:35	14:25	14:35	15:05	15:35	15:45	15:50	16:20	16:25	16:40
入室	開会	講義	休憩	事例発表①	事例発表②	講評	事務連絡	感想交流	閉会	個別相談 (事前申込)	

### ●講義

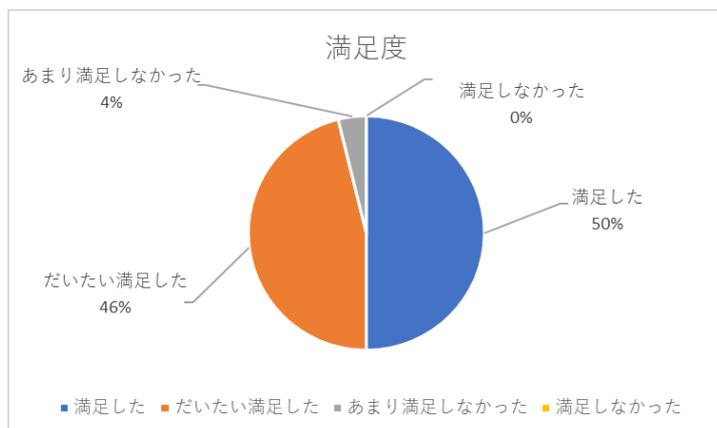
【講師】	【内容】
北海道文教大学 教授 吉岡 亜希子 氏	<p>家庭教育支援に関して、学びの機会を保障するために根拠となる法律や、社会教育としての家庭教育支援の考え方などについて理解を深めることができた。また、各調査データを基に、子育て世代が減少し、共働き世帯が増加していることなどについて、現代社会の子育てと家庭教育の諸課題を共有することができた。</p> <p>講義の後半では、地域の様々な実践事例を通して、育ち合う地域づくりを推進していくために、学びの場を提供することを柱に据えて活動していくことの大切さを学んだ。</p>

### ●事例発表

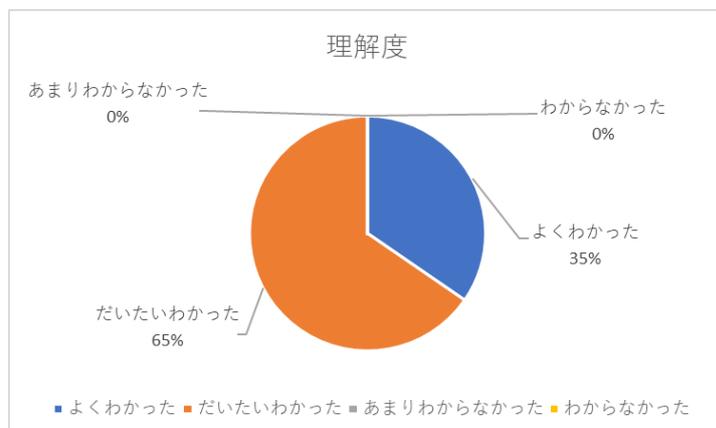
【発表者】	【内容】
NPO 法人ここちち 代表理事 岩淵 聖矢 氏	<p>運営する「NPO 法人ここちち」を立ち上げたきっかけや、NPO 法人と地域との関わりについてお話いただいた。子どもに関わる人が笑顔で子育てを楽しめる地域社会の実現に向けて、父親の地域社会への参画が必要であることを学んだ。</p>
恵庭市子ども未来部子ども政策課 若草っ子ひろばコーディネーター 杉本 徳子 氏	<p>子どもの創造性と自主性を伸ばす自由遊びや、親とスタッフが共に学びながら運営する協働運営の仕方など、プレイセンターの概要についてお話いただいた。その中で、お互いの違いを認める子育ての考え方について学びを深めた。</p>

## Ⅱ アンケート結果

### 1 満足度

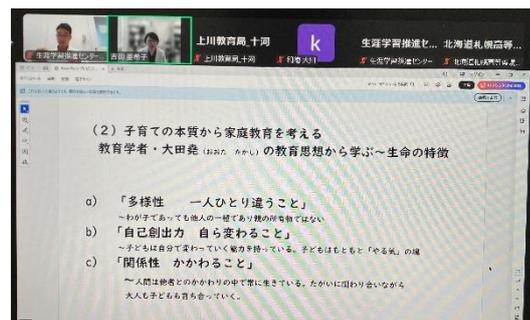


### 2 理解度



## Ⅲ 参加者からの声

- ・家庭教育支援は、保護者への学びの場の提供や、保護者だけでなく、子どもも一緒に参加できるような講座が必要なのがよくわかりました。
- ・現代社会の子育ての現状を知り、社会教育として親が親となるための学び合いの重要性を学ぶことができました。
- ・育児や地域に関わるお父さんが増えると、助かるパートナーが増えるなと思いました。たくさんの仲間と楽しく活動している姿を見られて良かったです。
- ・社会全体で子供を育てたり、活動をしたりといままでの自分が関わってこなかった分野の話を知ることが出来、社会教育にますます興味が出てきました。
- ・親の学びの場が必要というお話が胸に刺さりました。子育て支援のあらゆる方策は、親にとっても身になることで、「子」と「大人」と分けずに「人育て」の観点から考えることで、さらに多様な取組が可能になるのではないかと感じました。



## Ⅳ 担当者からひとこと

講義では、家庭教育支援に関わる理解を深めるとともに、事業を推進するという上で改めて特別に新しい活動を作るのではなく、今取り組んでいる活動を工夫することが、家庭教育支援に関わる人々の間口を広げることに繋がっていくということに気付くことができました。

また、地域づくりを担う人材の育成のためには、徹底した話し合いにより信頼関係を醸成していくことが必要であることや、社会教育の役割として親同士が良い影響を与える関係になるように、主体的に力を発揮させていく場を創っていくことが重要であるということを知ることができ、大変有意義な時間になりました。

講義後の事例発表では、地域の実態に寄り添った活動事例から家庭及び地域住民その他の関係者の連携及び促進の仕方について考えを広げることができ、私自身が今回のテーマについて多角的に考えるきっかけになる時間となりました。この度は、北海道各地からご参加いただき、誠にありがとうございました。